

佐賀県ユニセフ協会創立25周年記念式典・講演会&コンサート

~誰ひとり取り残さない~



©UNICEF Syria

とき 2019年6月15日(土)

13:30~16:30 (受付13:00)

ところ 佐賀県立美術館ホール

主 催 佐賀県ユニセフ協会

創立25周年記念実行委員会

目 次

1.25周年記念式典

	ごあいさつ
2.	記念講演会&コンサート5
3.	ユニセフについて6
4.	ユニセフとSDG s8
<u>5</u> .	25年のあゆみ10
6.	佐賀県ユニセフ協会役員15



TICADとは、Tokyo International Conference on African Development(アフリ カ開発会議)の略であり、アフリカの開発をテーマとする国際会議です。1993年 以降、日本政府が主導し、国連、国連開発計画(UNDP)、アフリカ連合委員会 (AUC) 及び世界銀行と共同で開催しています。

「TICAD7」は、2019年8月28日~30日に横浜で開催されます。



©UNICEF Syria

【シリア:避難民施設での教育支援】

シリアのジブリーン避難民施設には、多くの国内避難民の人々が身を寄せていま す。ユニセフは、避難民の人々のために、トラックでの水の輸送や、衛生設備の 設置の他、避難民の子どもたちが勉強を続けられるように、教育支援も行ってい ます。

ジブリーン避難民施設に設けられたこの学校には、20の教室があり、900人の子ど もたちが通っています。子どもたちはここに通うことで、勉強を続けられるとと もに、友だちと遊ぶことができます。紛争によって破壊された"日常生活"を、 少しでも取り戻そうとしているのです。

ユニセフは授業以外にも必要に応じた補習授業を設けることで、基礎教育課程の 修了をサポートしています。

目を輝かせて学ぶ子どもたちに明るい未来がありますように。

佐賀県ユニセフ協会創立25周年記念式典・講演会

【プログラム】

- 1. オープニング ♪ 響け! アフリカの鼓動 ♪ 佐賀県立牛津高等学校ジャンベ部
- 2.25周年記念式典
 - ○会長挨拶
 - ○来賓挨拶
 - ○表彰
- 3. 平和の道コンサート マニ・マーティンさん
- 4. 講演「共に生きる未来をつくろう」 永遠瑠・マリールイズさん







講師 profile

永遠瑠・マリールイズさん

「特定非営利活動法人ルワンダの教育を考える会」 理事長

1965年生まれ。

1993年5月 青年海外協力隊カウンターパートナーとし て福島文化学園にて洋裁の研修を受ける。

1994年2月 ルワンダへ帰国。同年4月7日ルワンダジ エノサイド勃発。

1994年12月 家族そろって福島へ。

2000年10月 「ルワンダの教育を考える会」を立ち 上げ、キガリ市内に学校を設立。

2011年3月 在住する福島において東日本大震災で被災、 原発事故を経験。

2012年5月 日本国籍取得。

2014年8月 日本とルワンダとの相互理解の促進活動 が認められ、外務大臣表彰を受ける。

マニ・マーティンさん ルワンダの国民的ミュージシャン

1994年4月に発生したジェノサイド を5歳で経験。10代を孤児院で過ごす。 幼い頃から教会で歌い、その後、声な き声を届ける手段として音楽の力を感 じ、歌の世界へ進む。

国際的な音楽フェスティバルへの出 演や、スーダンでの国連の平和維持の ミッションに参加するなど音楽を通し た平和大使としての地を確立してきた。 広島と長崎の原爆投下を悼むコンサー トを毎年8月16日にキガリでジャイカ・ ルワンダとコラボして開催している。



「グローバリズム」は世界を幸福にしたか

(公財)佐賀県ユニセフ協会 会長 中尾 清一郎 (佐賀新聞社 社長)

佐賀県ユニセフ協会は今年25周年を迎えることができました。皆様のご支援に厚く御礼申し上げると共に、あえて私は身内を褒めることになりますが、ボランティアで参加していただく運営スタッフの熱意に敬意を表します。

この25年間の最大の変化は「世界の一体化」です。テレビは世界中の出来事を瞬時に伝えることができますが、そのためには多くのコストや技術的なハードルがありました。インターネット、とりわけモバイルはスマホによって世界中の人がカメラマン、ジャーナリストたり得ます。なかには興味本位の動画や、恣意的な編集を施されたニュースもありますが、リアルタイムの世界を知る上で、人類社会は大きな進歩を遂げたはずです。

かつて、ユニセフに限らず先進国から途上国への支援は「一方通行」「独裁政権による搾取」「悪徳業者の中抜き」が問題とされていました。今では信頼できる機関のスタッフが現地で見聞きしたことをすぐに発信できるので国際貢献の実効性が上がってきた、と考えることもできます。一方で世界の一体化は先進国の経済・金融ルールを途上国にもあてはめ、ルールに則らないと罰則適用や参加権を与えない、という生殺与奪の権を先進国に与えます。また、平等や人権主義は人類普遍の原則ですが、家族や女性の地位について途上国や伝統あるイスラム世界には独自の価値観があり、欧米的な規範の押し付けが反発を招くこともあります。その中にあってユニセフの理想とする「子どもたちの幸福の追求」ほど説得力と共感を呼ぶ理念が他にあるでしょうか。

21世紀に生きる私たちは世界中の多様な価値観を認めなければなりません。その中にあってユニセフの理念はあらゆる文化圏を渡り歩く「パスポート」であると思います。私たちはこのパスポートを手に、日本で、世界で子どもたちの未来を考えていくことを誓います。



ごあいさつ

(公財)日本ユニセフ協会 会長 赤 松 良 子

佐賀県ユニセフ協会が設立25周年を迎えられましたことを心よりお慶び申しあげます。四半世紀にわたり、佐賀県において世界の子どもたちのためにユニセフの活動をご支援下さいました貴会の皆様に感謝申し上げます。また佐賀県ユニセフ協会を支えてくださっておられる皆様、そして設立25周年を迎えるにあたりご尽力賜りました関係者の皆様に心からの敬意を表します。

1994年に日本ユニセフ協会佐賀友の会として発足され、25年間、ボランティアの皆様のユニセフへの熱意とご努力により、継続してユニセフの広報普及活動、募金活動を進めてくださっております。地域の学校へユニセフを紹介する出前学習は昨年一年間だけで21回をかぞえ、のべ1255人もの方にご紹介いただいております。伝統ある有田陶器市での募金活動をはじめ、近年では地元企業様ともユニセフの勉強会、募金活動を行ってくださり、地域に根差したユニセフ活動をますます展開されております。

さて、ユニセフでも今年は「子どもの権利条約」を国連が採択して30年、日本が批准して25年という記念すべき年となりました。すべての子どもが公平な機会を得られる未来の実現に向けて、ユニセフは「生存と成長」「教育」「子どもの保護」「水と衛生」「公平な機会」の5つの分野に焦点をあてて活動しております。中でも5歳未満児の死亡数は確実に減っており、1990年の年間1,260万人から2017年は540万人に減少しました。しかし2030年までに新生児および5歳未満児の予防可能な死亡を根絶するという目標の実現を含め、すべての子どもの権利、特に最も不利な立場にある子どもたちの権利を実現することを目指しての活動にはまだまだ皆様のご協力が欠かせません。どうぞこれからも、私どもと一緒にユニセフの活動にお力添えくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴会の益々のご発展と会員の皆様のご多幸、ご健勝を祈念申し上げます。

長きにわたるご支援ご協力に感謝申し上げます。

ご芳名	ご支援の内容
田口電機工業株式会社様	「社会に貢献できる企業」の取組みの一環として、ユニセフ募金を 通して世界の子どもたちの福祉向上にお力添えをいただいている。
イオンモール佐賀大和様	2001年より、お客さまとともに地域のボランティア活動を応援する「イオン幸せの黄色いレシート」キャンペーンに参加し、店内においてユニセフの広報活動をさせていただいている。
弘堂国際学園様	日本語学校で学ぶ留学生を対象にユニセフを通した国際理解学習を 深めたり、留学生のバザーによるユニセフ募金に協力いただいたり している。
立正佼成会佐賀教会様	1979年の国際児童年にスタートしたユニセフと立正佼成会の「紛争 や貧困に苦しむ子どもたちを守るためのパートナーシップ事業」の 一環として、チャリティーバザーの際にご協力いただいている。
鹿島ガタリンピック実行委 員会様	広大な有明海の干潟の上の運動会「鹿島ガタリンピック」は、外国からの選手も多く参加する国際的なイベントである。1996年より毎年ユニセフにブースをご提供いただき、また、地元中学校との連携をとっていただき、募金活動などを行っている。
ゆめタウン佐賀店様	毎年年末のハンド・イン・ハンド募金活動や、自然災害時の緊急募 金活動時に会場を提供いただいている。
A コープララベル店様	鹿島地区において、毎年年末のハンド・イン・ハンド募金活動や、 自然災害時の緊急募金活動時に会場を提供いただいている。
待鳥 高司郎 様	2003年より福岡県柳川市内の小学校においてユニセフを通した国際 理解教育の場を提供いただいたり、毎年年末のハンド・イン・ハンド募金活動には児童、生徒、保護者、教職員のボランティア参加に お力添えをいただいている。
松本 千代子 様	ユニセフ募金を通して世界の子どもたちの福祉向上にお力添えをい ただいている。
牧 みどり 様	1994年「日本ユニセフ協会佐賀友の会」設立の準備期間から「日本ユニセフ協会佐賀県支部」となるまで事務局長としてご尽力され、現在の「佐賀県ユニセフ協会」の基礎づくりに努めていただいた。
坂口 ますみ 様	1994年「日本ユニセフ協会佐賀友の会」設立の準備期間から約15年間、広報や事務局運営にご尽力いただいた。現在もユニセフ募金を通して世界の子どもたちの福祉向上にお力添えをいただいている。
吉原 麻里 様	県協会のイベント等において、新聞やWEB等を通しての情報発信や、 ユニセフ募金を通して世界の子どもたちの福祉向上にお力添えをい ただいている。



© UNICEF Yemen

演題 「共に生きる未来をつくろう」

〜ルワンダの悲劇から学んだ教育の大切さ〜 講師 永遠瑠・マリ―ルイズ







ルワンダ共和国

- 1 面積 2.63万㎢
- 2 人口 1,220万人(2017年,世銀)
- 3 首都 キガリ (Kigali)
- 4 言語 ルワンダ語, 英語,
 - フランス語, スワヒリ語
- 5 宗教 キリスト教 (カトリック, プロテスタント), イスラム教

メモ

世界の子どもたちを支援するユニセフ そのユニセフの活動を支える日本ユニセフ協会 佐賀県ユニセフ協会

ユニセフとは

ユニセフ (UNICEF:国連児童基金) は、すべての子どもの命と権利を守るため、 最も支援の届きにくい子どもたちを最優先に、190の国と地域で活動しています。

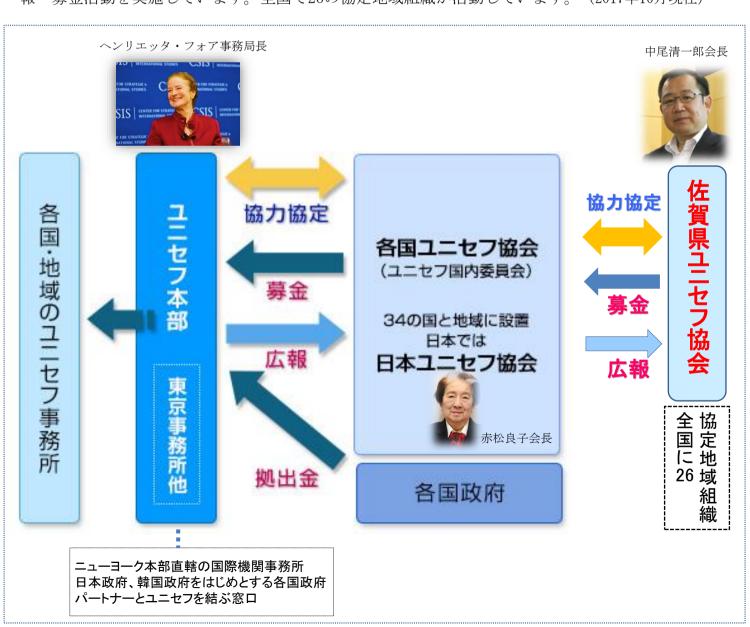
保健、栄養、水と衛生、教育、暴力や搾取からの保護、HIV/エイズ、緊急支援、 アドボカシーなど の支援活動を実施し、その活動資金は、すべて個人や企業・団 体・各国政府からの募金や任意拠出金でまかなわれています。

日本ユニセフ協会とは

(公財)日本ユニセフ協会(ユニセフ日本委員会)は、世界34の先進国・地域にあるユニセフ国内委員会のひとつです。ユニセフとの「協力協定」のもと、日本国内において民間で唯一ユニセフを代表し、募金活動、広報活動、「子どもの権利」の実現を目的としたアドボカシー(政策提言)活動を行っています。1955年に創立されました。

佐賀県ユニセフ協会とは

佐賀県ユニセフ協会は、公益財団法人 日本ユニセフ協会と「協力協定」を締結し、ユニセフの趣旨に基づき、ユニセフへの協力活動を推進する県内唯一の任意団体です。ユニセフの支援活動を地域で行い、ユニセフ協力のネットワークを広げていくための活動拠点として1994年に創立されました。佐賀県を代表するユニセフ活動の拠点として、地域の社会・文化に根づいたユニセフの広報・募金活動を実施しています。全国で26の協定地域組織が活動しています。(2017年10月現在)



ユニセフの活動の基盤は「子どもの権利条約」です。

2019年は、「子どもの権利条約」採択から30周年になります。

「子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)」って聞いたことがありますか? 世界中のすべての子どもたちがもっている"権利"について定めた条約です。戦争に巻きこまれてしまったり、防げる病気で命をうしなってしまったり、つらい仕事で1日が終わってしまったり…世界には厳しいくらしをしている子どもたちがいます。

「子どもの権利条約」は、そんな子どもたちをはじめ、世界中の子どもたちの強い味方です。ユニセフもこの条約に書かれた子どもたちの権利を守るために活動しています。

◎採択から30周年

子どもの権利条約(児童の権利に関する条約)は、1989年11月20日に国連で採択され、本年30周年を迎えます。現在では、この条約の締約国・地域は196に上り、世界でもっとも広く受け入れられている条約の一つです。



子どもの権利条約採択から30周年記念のロゴ

◎すべての子どもに、子どもの権利を

この30年で、世界は大きく変化し、子どもを取り巻く環境も劇的に変わりました。

しかしながら、現在の世界を見わたすと、4人にひとりの子どもが災害や紛争などの緊急事態にある国や地域で暮らし、移 民や難民となって移動している子どもも大勢います。インターネット上で被害を受ける子どもを保護するかなど、新たな課題 も生まれています。

ユニセフは「子どもの権利条約」のもと、過去も現在も、すべての子どもが、子どもの権利条約で保障された権利を享受できるように、世界中で活動しています。 **ス 、 CRC30****

「子どもの権利条約」が定めている4つの権利

「この条約は大きくわけて、次の4つの子どもの権利を守るように定めています。 そして、子どもにとっていちばんいいことを実現しようとうたっています。

1. 生きる権利



子どもたちは健康に生まれ、安全な水や十分な栄養を 得て、すこやかに成長する権威をもっています。病気や けがをしたら、適切な治療を受けられなければなりません。

3. 守られる権利



子どもたちはあらゆる種類の差別や虐待、』搾取から守られなくてはなりません。紛争下の子ども、障害のある子ども、少数民族の子どもなどは、特別に守られる権利を持っています。

2. 育つ権利



子どもたちには教育を受ける権利があります。また、休んだり、遊んだりすること、様々な情報を得て、自分の考えや信じることが守られることも、自分らしく成長するためにとても重要です。

4. 参加する権利



子どもたちは自分に関係あることがらについて自由に 意見を表したり、集まってグループをつくったり、活動 することができます。その時には家族や地域社会の 一員としてルールを守って行動する義務があります。

SUSTAINABLE G ALS DEVELOPMENT G ALS



SDGs(持続可能な開発目標)

2015年9月、「国連持続可能な開発サミット」が開催され、150を超える首脳が参加して、2016年から2030年までの15年間の新たな目標となる「持続可能な開発目標($\bf S$ ustainable $\bf D$ evelopment $\bf G$ oal $\bf s$)」が採択されました。

17の目標と169のターゲットからなるSDG s は、ユニセフが採択前から重視してきた公平性のアプローチ "誰ひとり取り残さない"を掲げ、先進国も途上国も取り組むべき普遍的な目標です。

ユニセフの活動とSDGs

ユニセフは、SDGsにも掲げられることになった、すべての子どもに公平な機会を提供し、もっとも取り残されている子どもたちに焦点をあてる「公平性のアプローチ」に基づき、世界の子どもたちの権利の実現と健やかな成長を促進するための活動を行っています。

ユニセフの活動のすべての分野は、密接にSDGsと関わっています。



想像してみてください。

2030年、社会の第一線にいるのは、今の子どもたちです。その2030年、世界はどうなっているでしょうか?

地球はひとつしかありません。その地球には、課題が山積みです。

地球のことは、地球に住むすべての人 ~先進国も、開発途上国も、大人も、子どもも~ が、一緒に考えて、今すぐ課題に取り組んでいかなければ解決しません。

わたしたちが地球でずっと暮らしていけるように、国連や企業や有識者たちが知恵を寄せ合ってできた「持続可能な開発目標」。

「エアコンを使いすぎない」「車を使わず歩く」「食べ物を粗末にしない」「川や海をきれいにする」…。

みなさんがもう気を付けていることだって、実は「持続可能な開発目標」に関係しています。 一人ひとりにできること、地域でできること、学校・団体でできること、会社だからできること…。 小さい行動だって、集まったら大きな力。

自分たちにできることをはじめましょう。



SDGs絵画展取り組みの主旨。



今、私たちが住む地球には多くの課題があります。その解決が急務です。 大人も、子どもも知恵を出し合い解決を図らなければなりません。

2030年に社会の一線にいるのは今の子ども達です。佐賀県ユニセフ協会では、SDGsの17の目標の中から、身近な生活の中で自分にできる事やみんなで取り組みたいことを考え、絵に表わすことを通して、「『わたしたちの地球』を守ろう!」という気持ちを育てたいと考え、絵画展を行っています。

2030年の地球を ユニセフとともに 考えよう





【「おもてなし隊」の皆さんも応援】

【第1回 会場 佐賀城本丸歴史館】

第1回目の絵画展は、「**佐賀の子どもは未来を見ている**」 というテーマで、佐賀城本丸歴史館で行いました。

2017年は、佐賀の偉人たちが活躍した明治維新からちょうど150年の節目の年、城内周辺は"さが維新博"で大いに盛り上がっていました。

記念すべき第1回を佐賀城本丸歴史館で行い、維新の頃に佐賀の偉人たちが未来に向けて知恵を出し合ったように、佐賀の小中学校の子どもたちにも、未来を切り拓いてほしいと願い、絵画展をスタートさせました。

【第2回 会場 佐賀県庁県民ホール】

第2回目の絵画展は、県庁1階の県民ホールで行いました。天井も高く、広々とした会場での絵の展示は開放感があり、好評でした。県内各地からの応募があり、表彰式で初めて県庁に来て表彰されてとても嬉しかったという声も聞きました。

表彰式の後には毎回、SDGs広報のミニ研修も 行っています。引率で来られた保護者の方たちは、 SDGsの研修内容に、「絵を見るだけでなく勉強に なった」等の感想も述べられていました。





【SDGsについてのミニ研修】





募金活動会場にてSDGs広報

「SDGsルーレット」





【5月3日有田陶器市会場】 【唐津青年の日会場】

今年も天気に恵まれ有田陶器市や唐津の青年の日の イベント会場にはたくさんの方々がおいでになりました。

募金会場に今年からSDGsのゲーム感覚で取り組める「SDGsルーレット」を持ち込み、楽しみながらSDGsについて学ぶコーナーを設置しました。

子どもには特に人気があり、ルーレットを回して止まったところの目標の栞をもらい、自分が頑張りたいこと「行動宣言」などを書いてもらうコーナーにしています。

「SDGsわなげ」





【6月2日 鹿島ガタリンピック会場】

佐賀県ユニセフ協会では、低学年向けの「SDGsの広報」 グッズとして、①ゲーム性が高く楽しく取り組め、②発達段 階に応じたコミュニケーションによる学びのできる「SDGsわなげ」ゲームを作成しました。低学年だけでなく、中学生に



も人気で、輪の入った番号 のSDGs目標について「自 分が頑張れること」などを考 えることができました。

低学年の児童には「目標の言葉を知る」だけでも良いとして、カードをプレゼントしています。

25年のあゆみ

1994年度

財団法人日本ユニセフ協会佐賀友の会

10月31日 12月 財団法人日本ユニセフ協会佐賀友の会設立 佐賀玉屋デパートにユニセフカード常設コーナー



1996年度

5月3日 鹿島ガタリンピック会場にてパネル展、カード頒布、募金活動 …以降毎年実施(鹿島市七浦海浜公園) 使用済み切手/ 書き損じ葉書 などの回収募 金に取り組む。

1997年度

2月7日、21日 ユニセフ出前授業(佐賀大学文化教育学部附属中学校2年)

出前授業に 取り組む

1998年度

通販方式によるユニセフカードの頒布を始める。

1999年度

日本ユニセフ協会佐賀友の会創立5周年記念誌発行

2001年度

1994年8月より「栄の国まつり」で開催していたバザーを、この年以降 毎年5月に佐賀玉屋デパートアーケードにて開催するようになった。

ホームページ を開設

この年に始まった「イオンイエローレシートキャンペーン」に参加。(ジャスコ佐賀大和店)

2004年度

財団法人日本ユニセフ協会佐賀県支部

4月10日 財団法人日本ユニセフ協会佐賀友の会より、財団法人日本ユニセフ協会佐賀県支部へと移行。これまでの「理事」と新たに「評議員」も組織化し、活動の場が広がる。

創立10周年記念誌発行「すべての子どもたちに未来を」



2009年度

9月26日 創立15周年記念事業「100人でする100人村 in さが」

講師:桜井高志さん(佐賀大学文化教育学部附属小学校)

10月15日 「世界手洗いの日」プロジェクトを佐賀県との協働事業として取り組む。以降毎年、保育園・幼稚園・学校・病院等で実施する。



2010年度

9月18日 トヨタ紡織九州株式会社ハンドボール部 "レッドトルネード" によるユニセフ募金活動が始まる。

3月21日 2011年3月11日に発生した東日本大震災の緊急支援募金活動・写真 展・報告会などに継続的に取り組む。



2011年度

公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織 佐賀県ユニセフ協会

4月1日

日本においてユニセフを代表するユニセフ協会(国内委員会) としての財団法人日本ユニセフ協会の公益財団法人への移行 に伴い「公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織佐賀県 ユニセフ協会」へと名称変更

会計年度が4月~3月より暦年(1月~12月)に変更

University Universit

2012年度

9月13日

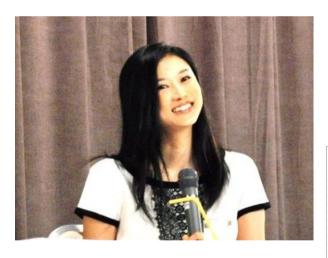
facebookページを開設 これにより佐賀県ユニセフ協会の情報をより多くの方にお届けできるようになる。

2014年度

9月27日 佐賀県ユニセフ協会創立20周年記念事業 (佐賀市 マリトピア)









佐賀県ユニセフ協会設立20周年記念式典、およびキャスター 菊川怜トークライブを開催。

会場は500名の来場者で満席となった。また、茨城県千葉県・ 愛媛県・久留米・熊本県・鹿児島県・宮崎県の各県協会から のご参加もあった。

皆様に支えられ20年間歩み続けてきた佐賀県ユニセフ協会の 今までを振り返り、そしてこれからへと繋げる大きな節目と なった。

2014年~2016年 「インド女子教育」指定募金

2014年より3年間、佐賀県ユニセフ協会・熊本県ユニセフ協会・千葉県ユニセフ協会・ 茨城県ユニセフ協会・岐阜県ユニセフ協会とともに「インド女子教育」指定募金に取り組む。

2015年度

8月4日 ユニセフサマースクール「お水の教室」 (佐賀市大和町水ものがたり館) 講師 野田岳仁さん

(立命館大学政策科学部助教 NPO法人Waterscape代表)





2016年度

9月9日~15日 佐賀県ユニセフ協会&佐賀市立図書館共催事業 (佐賀市立図書館)

パネル展「もったいないばあさんのワールドレポート展」

9月11日 「もったいないばあさん」の真珠まりこさんがくるよ!

おはなし会/講演会 講師:真珠まりこさん「もったいないばあさんと世界の子どもたち」







2017年度

5月7日 J1サガン鳥栖ホーム ベストアメニティスタジアムにて募金活動&パネル展





8月18日~25日 平成29年度全国中学校体育大会 佐賀/長崎会場において「チームユニセフ」パネル展



佐賀県立総合体育館



長崎県立総合体育館



大村市体育文化センター

11月26日 SDG s 第1回「絵でつたえよう!『わたしたちの地球』を守る絵画展 〜佐賀の子どもは未来を見ている〜 表彰式及&入賞作品展示 (佐賀城本丸歴史館)







12月2日~8日 SDG s 第1回「絵でつたえよう!『わたしたちの地球』を守る絵画展 (佐賀市立図書館 2F ロビーギャラリー)

日本ユニセフ協会会長賞



4 #0.84 #8 質の高い教育をみんなに

佐賀県ユニセフ協会会長賞



15 陸の豊かさも 守ろう

陸の豊かさも守ろう

佐賀県ユニセフ協会会長賞





佐賀市立図書館 2Fロビーギャラリー



海の豊かさを守ろう

2018年度

8月15日 J1 V・ファーレン長崎

「夏のV・ファーレン祭り」平和を願うこどもの日!「ユニセフDAY」にて出前授業・パネル展・募金活動 (諫早市 内村記念アリーナ・トランスコスモススタジアム)



unicefTシャツ姿のエスコートキッズ



選手による募金活動



出前授業:低学年の部「世界のこどもたちと平和」

10月21日~27日 SDG s 第2回「絵でつたえよう!『わたしたちの地球』を守る絵画展 ~佐賀の子どもは未来を見ている~ 表彰式及&入賞作品展示 (佐賀県庁 県民ホール)





11月18日 ユニセフのつどい2018 ビデオジャーナリスト アジアプレス 玉本英子さん講演会

(佐賀市立図書館)

紛争地域を取材して20年 ~イラク/シリアの 女性・子どもたちをみつめて~



数字で見る25年

Thank you		募金総額	カード&ギフト 頒布額	募金活動 (街頭/イベント)	写真 パネル展	出前授業・事務所 訪問等での学習	機関紙発行
1	1994年	1, 654, 264	599, 185	8	6	0	友の会便り
2	1995年	1, 594, 317	1, 083, 910	13	15	0	NO, 1
3	1996年	2, 311, 199	1, 123, 140	11	13	0	\$
4	1997年	2, 672, 003	1, 087, 650	9	8	2	
5	1998年	1, 920, 585	1, 271, 820	7	8	0	
6	1999年	2, 620, 466	1, 474, 150	10	8	5	
7	2000年	1, 759, 387	1, 388, 330	12	8	11	
8	2001年	2, 292, 545	1, 520, 365	12	4	12	
9	2002年	2, 074, 797	1, 534, 760	10	10	15	
10	2003年	2, 468, 105	1, 489, 570	12	11	16	NO, 46
11	2004年	3, 874, 639	1, 128, 410	13	12	20	支部通信
12	2005年	3, 517, 868	1, 002, 130	17	15	25	NO, 1
13	2006年	4, 781, 697	918, 250	16	15	24	\$
14	2007年	5, 316, 902	801, 220	15	16	25	
15	2008年	5, 557, 205	796, 320	16	15	22	
16	2009年	6, 410, 738	742, 680	15	12	24	
17	2010年	6, 302, 653	798, 680	23	11	20	NO, 27
18	2011年	5, 805, 592	771, 570	19	9	17	unimi ah
19	2012年	4, 254, 349	622, 290	18	9	32	uniwish NO,1
20	2013年	5, 697, 836	572, 860	24	10	28	
21	2014年	5, 240, 666	685, 430	28	11	43	\$
22	2015年	6, 169, 976	頒布終了	20	10	49	
23	2016年	4, 754, 776		26	9	36	
24	2017年	4, 347, 347		28	11	37	
25	2018年	5, 120, 398		32	11	33	NO, 28
総計		98, 520, 310円	21, 412, 720円	414回	267回	496回	101回

2019年度 佐賀県ユニセフ協会役員

(2019年4月1日現在 敬称略 五十音順)

				(2019年4月	11日現在 敬称略 五十音順)
顧問	山口 祥義	佐賀県知事	_	青柳 直	日本労働組合総連合会 佐賀県連合会会長
/EX 1-1	秀島 敏行	佐賀市長		家永 美子	JA佐賀県女性組織協議会 会長
会 長	中尾 清一郎	株式会社佐賀新聞社 代表取締役社長		今泉 泰子	(合)今右衛門役員
副会長	牧 正興	久留米大学人間健康学部 総合子ども学科教授		上野 景三	佐賀県立男女共同参画セン ター佐賀県立生涯学習セン ター事業統括
				内村 芳郎	九州電力株式会社執行役員 佐賀支社長
専務理事	吉原 眞紀子	原 填紀子 医療法人智仁会 夢館館長		江頭 健司	佐賀市立図書館館長
常務理事	太田 記代子	医師 (元) 佐賀県議会議員		江崎 正徳	(社) 佐賀青年会議所理事長
111 193 - 1	角田 研三	(元) 佐賀市立本庄公民 館館長		小川 文代	国際ソロプチミスト佐賀西部 会長
	秋山 昭雄	秋山歯科医院院長		大辻子 順紀	浄土真宗本願寺派佐賀教区 教務所長
	池田 研二	佐賀県PTA連合会理事		香月 道生	佐賀商工会議所副会頭
	泉 俊彦	株式会社サガテレビ代表 取締役社長		木原 慶吾	サウンドスピリッツ代表取締 役
	枝吉 和彦 日本ボーイスカウト佐賀県連盟コミッショナー 評 音成 日佐男 예旅館あけぼの代表取締役社長	】 」評議員	小林 宏衣	立正佼成会佐賀教会教会長	
			佐藤 三郎	国立大学法人佐賀大学 名誉教授	
	桑原 廣子	コープさが生活協同組合 会長		関谷 静司	佐賀ギター音楽院院長
理事	瀬戸口 義郎	佐賀中部保健福祉事務所 所長		田中丸 雅夫	株式会社佐賀玉屋代表取締役 社長
	堤 いと代	ガールスカウト佐賀県連 盟連盟長		徳元 一郎	読売新聞佐賀支局長
	富永 英美	佐賀県小中学校校長会 会長		二宮 洋二	佐賀共栄銀行取締役頭取
	馬場 三佳 佐賀市国際交流協会		前地 昌道	朝日新聞佐賀総局長	
	東島 正明	佐賀市教育委員会 教育長		森 和幸	洋画家 ヴァイオリニスト
	松尾 敏実	佐賀県高等学校長協会 会長		矢ヶ部 正文	NHK文化センター講師
	宮﨑耕治	国立大学法人 佐賀大学学長		山﨑 久	NHK佐賀放送局長
				山下 誠吾	毎日新聞佐賀支局長
監事	西村 宰	税理士法人西村会計 代表社員		余 信鎬	日本バプテスト連盟 佐賀キリスト教会牧師
	松永貴宏	医療法人智仁会佐賀リハ ビリテーション病院		渡辺 徹	ホテルニューオータニ佐賀 執行役員総支配人

ユニセフの組織と募金の流れ

各

国

政

府

みなさまのご支援でできること(例)

1円 ビタミンA欠乏症やはしかによる合併症を予防・治療するための、

ビタミンA カプセル1錠

35円 重度の栄養不良からの回復に役立つ栄養治療食50包。

経口ポリオワクチン10回分 150円

539円 子どもを寒さから守る、大きめの毛布1枚

使い捨ての注射器 (5ml) 100本。 563円

1,547円 20平方メートルの防水シート1枚。数世帯分の簡易シェルターを

設置したり、床の敷物に使用したりすることができる。

当・実施
生活をより

(2019年1月現在の価格:1米ドル=111円で計算)



皆様からの募金佐賀県ユニセフ協会

ユニセフ物資供給センター (コペンハーゲン) ニセ 世界各地に48時間以内に支援物資を届ける 日本ユニセフ協会

ユニセフ本部(ニューヨーク)

開発途上国での活動計画をまとめ、集められ た募金の使いみちを決める

イノチェンティ研究所 (フィレンツェ) 世界の子どもの状況や問題の調査、分析、子 どもの権利に関する研究を行っている

よくするための活動を計画各地で子どもの命を守り生

1 5 の子ども 00以上の国と地は の子どもたちへ 域

日本ユニセフ協会賛助会員募集!!

日本ユニセフ協会賛助会員とは?

34

カ

玉

日本国内での募金活動、広報およびアドボカシー(政策提言)活動を担う日本ユニセフ協会を、 賛助会費によって支援していただく協力方法です。賛助会員になってニュースレターや資料を 入手して理解を深め、世界の子どもの状況やユニセフと日本ユニセフ協会の活動を知り、でき る範囲で行動する機会にしていただくことができます。

賛助会員の種類や期間について … 3種類の会員があります。

- 1. 一般賛助会員 1口 5,000円
- 2. 学生賛助会員 1口 2,000円 ※有効期限はどちらも入会月から1年間で、ご退会のお申し出をいただくまでご継続となります。
- 3. 団体賛助会員 1口100,000円 ※団体賛助会員は企業、団体、有志のグループなどが対象です。 期間は、1年ごとの更新になります。
- ◎公益財団法人日本ユニセフ協会の賛助会費は、ユニセフ募金や寄付金と同様、寄付金控除の 対象になります。

詳細は佐賀県ユニセフ協会までお問合わせください。

佐賀県ユニセフ協会事務局ボランティアスタッフ

石井由起子 石田伸弘 右近雅人 江越浩 川﨑湧三 高原陽子 田渕由加利 団野その子 富﨑鈴代 橋本幸子 服部美津代 原里美 峰順子 峰松小百合 山屋満津江(HP担当) 吉原眞紀子 (専務理事) 江島きよ子 (事務局長)



私達の日常で できることを考えよう

食べもの

「食品ロス」が日本では年間約632万トン。

これを日本人1人当たりに換算すると、毎日お茶碗約1杯分(約136g)のご飯の量を捨てていることになります。



水

★日本人が1日に使う 水の量 320リットル



★人間が最低必要な 水の量 20リットル (WHO)



気候変動

異常気象や海水面の上昇などはすべての人に影響を与えます。

まず、温室効果ガス排出量の削減は、公共交通機関を利用したり、電気のコンセントをこまめに切ったりするなど、日常生活の小さな変化で可能です。

陸の資源

森林は、私たちが吸う空気から私たちが飲む水、さらには私たちが口にする食料に至るまで、私たちの生命を維持する役割を果たしています。

リサイクル、地産地消の 食生活、必要 なものに 限った消費などを心がけま しょう。



海の資源

世界の海に流れ込むゴミの量が増えていることが、環境と経済に大きな影響を及ぼしつつあります。プラスチックの利用を最低限に抑え、浜辺の清掃なども行いましょう。



クリーン エネルギー

太陽や水や風などの自然の力でつくるエネルギーの利用で環境や人々の生活への影響が少なくなります。

冷暖房の温度を調整したり、 省エネタイプの電気器具を 使ったりすることで、電力の 消費も抑えることができます。



差別や 不平等

日本でも障がい者差別解消法 やヘイトスピーチ対策法などにより差別の解消が図られてきています。世界には、ジェンダーや障がい、社会的立場や宗教民族や人種など様々な理由で、差別されている人がいます。すべての人が法や制度で守られる社会をつくりましょう。



住みよいま ちづくり

市民だれもがずっと安全に暮らせて、災害にも強いまちづくりを目指すには、日頃より、コミュニティの様々な項目についてチックしながら、コミュニティをよりよく整備していきましょう。





みんなでSDGs 私たちはみんな地球に住んでいる 地球にはたくさんの課題がある 2030年 地球を支えているのは今の子どもたち



公益財団法人日本ユニセフ協会協定地域組織

佐賀県ユニセフ協会創立25周年記念パンフレット

発行日 2019年6月15日

発 行 佐賀県ユニセフ協会

〒840-0054 佐賀県佐賀市水ヶ江四丁目2番2号

電話/FAX 0952-28-2077

E-mail unicef-saga@ams.odn.ne.jp ホームページ http://www.saga-unicef.jp/

フェイスブック http://www.facebook.com/unicef.saga

